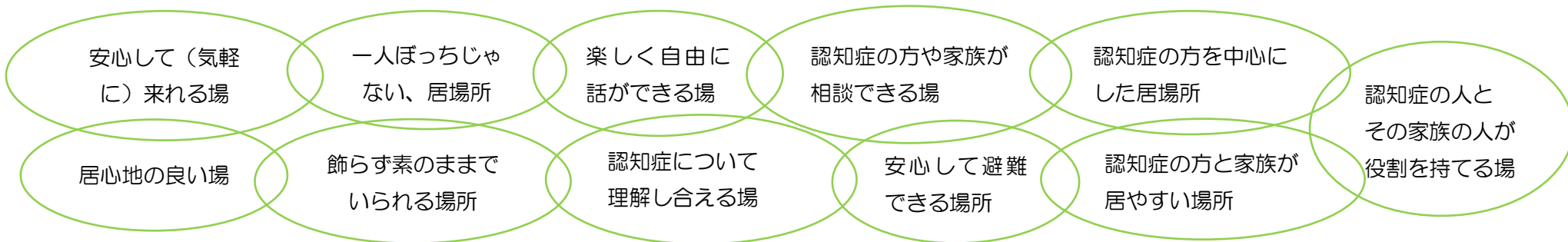


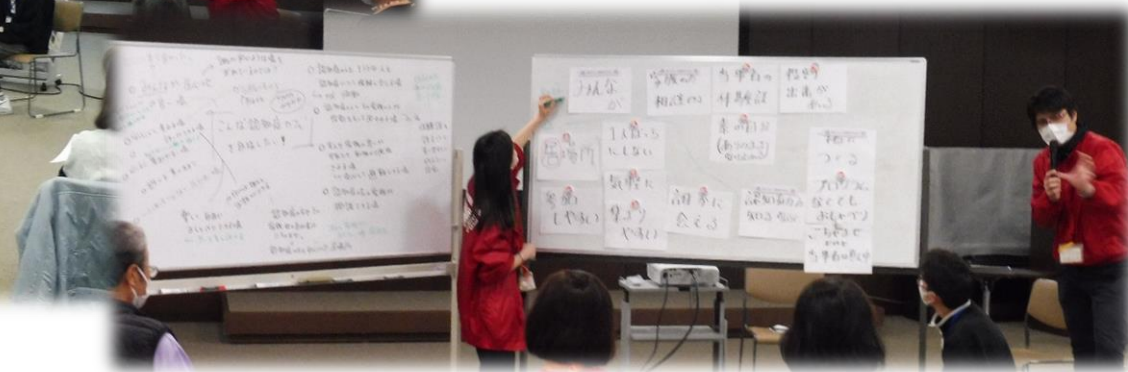
# オレンジサポーター活動 レポート ②

年明け初めてのつどいを1月26日に開催しました。オレンジサポーター17名、キャラバンメイト・協力者等11名 計28名にて、「わたしたちの認知症カフェを考える② ～認知症の人もそうでない人も共に楽しみ、学び、交流できる場所づくり～」をテーマに参加者全員でホワイトボードを囲み、これから作る認知症カフェの目的を話し合いました。今回、入院中のサポーターさんがお二人覗いてくださいました。自分たちにとっての居場所づくりでもあるんだなあ、と改めて感じるエピソードでした。

～参加者から出た思い～



今回は、参加者全員で話し合いをしました



### ～参加したサポーターの感想～

- 多くの意見や発表されたことが皆さん同じように思ってみえることがわかりました。参加してよかったです。
- 参加させていただきありがとうございました。（自身の所属団体の）講師としてご指導願います。
- 多くの意見を聞くことで、なるほど！と思うこともいっぱい学びとなりました。ありがとうございました。
- 認知症について少しは理解できるようになった。
- 今に、病院と地域の橋渡しとなれるように参加して行きたいと思っている。
- どのお話も意見もみんなもっもの事だと思えます。私自身も認知症が心配です。何に気を付ければ？とにかく、楽しく認知症の方と会うこともないので一緒にお話ししたいです。
- 認知症の実態が知りたい。（どこに何人いるか、など）
- 認知症カフェ、実現するといいな。
- 認知症って特別じゃない、自分も行く道だ。今のうちにたくさん話聞いて学ぼうと思った。
- 発表したこと以外自分の思いと同じ意見があったことはよかったです。何かやっていくときには目的があったほうが良いが目的にしばられたらいけないと思う。この先、居場所づくりが一つでも進んで行けた良いな。
- 多くの意見や発表されたことが皆さん同じように思ってみえることがわかりました。参加してよかったです。
- 認知症カフェを立ち上げる意義について少し理解できたように思いますが、実際に立ちあげる場費用等々、疑問が残ったままですっきりしないです。
- カフェをつくるにはいろいろなハードルがあることを改めて認識させられた思いです。
- 私は84歳。認知症の一人として楽しく足を運べるようなカフェができれば主人と行くことが出来るとうれしいです、毎日の行事として行くこと（足が運べる）場所でありますように。
- 認知症者にとっても、それ以外の人にとっても心地よく充実した時間を過ごせる場所になってほしい。
- 認知症の方もご家族も地域の方々と一緒に気楽に楽しめるカフェが出来るといいなと思いました。
- 認知症の方、認知症の家族の方、サポートの方等々、誰もが参加できる居場所に出来ると本当に良いと思う。ここにきてよかったです！！と思える場所に出来ると良い。
- 認知症の人がご自分の出来る範囲で働ける場所。      • みんなが居心地の良い場。
- 認知症カフェにまずは来ていただくことが大切ですね。介護の方のストレスを受け止める場所や認知症の方が話せる場所にして行けるといいですね。また、地域の方とのつながりもできるといいですね。
- あらためて人と会っておしゃべりすることがいいことだと思えます。人が集まれる場は作ると良いと思えます。